



水行を行う修法師（31日、日向市財光寺の本光寺）

疫病退散 立春水行祭

日向市財光寺の本光寺（吉田年生住職）で31日「立春水行祭」があつた。例年の開運招福を願うお祭りとしてではなく、新型コロナ早期終息を祈願し、鳥インフルエンザで殺処分された家畜を供養する祭事として営んだ。

この日は、密を避けるために分散参拝を呼び

掛けていることもあり、参拝者は例年の半分ほどだった。吉良貴徳副住職は、コロナ禍

での生活に触れ「不安な気持ちもあると思うが、あと少し、みんなで乗り越えていきたい。今年は丑（うし）年。一步一步足並みをそろえて進みましょう」と呼び掛けた。

身体健全、商売繁盛、

水行では、檀（だん）にて、参拝者の頭や背中、痛めている腰や足

に法華經の教えが書かれた「選經（せんきよう）」を当て回った。

また、一般の人たちによる水行や個別祈祷が行われた。福豆はまかずに参拝者に配布した。

本光寺修法師 冷水をざぶりコロナ終息 烏フル供養も 日向市財光寺

2021.2.1